

「CSRレポート2006」の発行について


1. 当社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:松下功夫)は、このたび、当社グループのCSR(企業の社会的責任)活動を取りまとめた「CSRレポート2006」を発行いたしました。
 2. 当社は、2003年から「環境報告書」を発行してまいりましたが、昨年、社会的側面に関する情報を加えて「社会・環境報告書」に改めました。本年は、CSRレポートと改称し、特集や2つのハイライトを設けるなど内容の充実を図るとともに、ステークホルダーの方からのご意見やご要望のほか、当社社員の声も掲載しております。
 3. 「CSRレポート2006」の主なポイントは次のとおりです。
 - (1)「エネルギー企業としての責任と行動」と題する特集を設け、油田・ガス田の探鉱・開発・生産から海上輸送、精製・備蓄、物流、JOMOステーションを通じた各種サービスの提供に至る当社事業の一貫したサプライチェーンにおいて、その果たすべき責任と取組みを総合的に記載しました。
 - (2)ハイライトとして「地域の自然環境保護への貢献」および「スポーツの振興と地域貢献」を取り上げ、自治体との協働での森林整備活動を通じての地球環境保全活動や、JOMOバスケットボールクリニックによる社会貢献活動について詳しく記載しました。
 - (3)事業活動による環境への影響とその対応策をLCA(注1)により評価した「マテリアルバランス」を記載しました。
 - (4)JOMOステーションにおける環境保全活動や顧客満足度向上に向けた取組みを記載しました。
 - (4)本レポートの用紙に「3.9ペーパー」(注2)を採用しました。
- (注1) LCA
製品の製造、使用、廃棄に関わるすべての工程における資源の消費量、排出量を測定し、環境への影響を評価する手法のこと。
- (注2) 3.9ペーパー
地球温暖化防止に向けて、印刷用紙への国産間伐材の利用を促す仕組みのこと。

以上

● 【添付資料】

 [CSRレポート2006 \(PDF:11MB\)](#)

● 【冊子請求】

 [エコほっとライン](#)